

4間引き

せます (1穴 2本立ち)。

第1本葉展開後、生育の良い2株を間引きし、

株元へ土を寄

### 生育旺盛で作りやすい! つるなしインゲン栽培!

### 【指導員】 園芸課



## ①品種

「つるなしインゲン」を栽培しましょう!

4月下旬~7月まで播種できる

期間も短い、つるなしの早生種がおすすめです。当管内では恋 25℃です (霜に注意)。 みどり(54日タイプ)が作付けされています。生育適温は15~ めて栽培する場合は、つるで生長せず、草丈も50m程度で生育 インゲンには、「つるあり」と「つるなし」があります。 初

# ②畑の準備

す。 開花初期 的に行います。また、 水性も高めておきましょう。 初期生育確保のため、 (播種後40日頃)に行いま 高畝にして排 基肥を重点 追肥は

# ③播種(発芽まで約4~7日)

薄めにしてください。 砂質地では厚め、 してください。覆土は約2mとし、 の跳ね上がりを防ぐ為、 病害虫や雑草抑制、 粘土質土ではやや 保温効果、 マルチング 泥

## a当たり施肥例(土壌pH: 6.0~6.5)

※ Ta 当た 7/18元/万(土象pi 1: 0.0 0.5)		
区分	資材名	施肥量(kg)
土 壌改良剤	完熟堆肥	100
	粒状苦土石灰 M-10	10
	苦土重焼燐	2
基 肥	マイルドユーキ030号	15
追 肥	燐硝安加里 S646	2

株間 30cm 1穴当たり 2~3粒
条間 45cm 通路 50cm
畝幅 70cm

⑧病害虫

類、豆類(未成熟)、サヤインゲンの登録農薬が使用できます。 灰色かび病、菌核病、アブラムシ類に注意しましょう。

## ⑨収穫

9~15㎝頃まで成長したらハサミを使って、 ない時間帯に行います。 開花から約10~14日で収穫です。莢を傷つけないよう、長さ 莢の温度が上がら

す。 う注意してください。 他作物との組み合わせで前作または後作としてもおすすめで ただし収穫、選別作業は労力がかかりますので、最初は小 10~14日おきに段播きを行う等、 収穫遅れとならないよ

## ⑤誘引

張って支える方法があります。 フラワーネットや株の両側に紐や針金を 傾きや倒伏防止のため誘引を行います。

# ⑥かん水

よう、こまめにかん水を行いましょう。 開花~莢肥大期は水分不足とならない

## ⑦摘葉

黄化した古葉や下葉を摘み取ります。 株当たり上位葉を4~5枚、 茎葉が繁茂しないよう、開花初期に1 収穫直前





